

令和 7 年第 4 回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	浅野 直子	7	青柳 信義
2	金子 透	8	荒谷 敏
3	出川 博一	9	菊池 美穂
4	畠山 由美	1 0	長谷川る美
5	佐藤 浩崇	1 1	小松 大介
6	須藤 義	1 2	伊藤 嘉樹

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 1 : 0 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 2 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 がん対策とインフルエンザ予防接種費用助成について

【質問要旨】－簡明に－

本市のがん患者等医療用補正具購入費用助成事業として、医療用ウィッグと乳房補正具費用の支援が行われています。特に、女性の乳がん患者数は、日本全国において新たに年間10万人が診断されています。本市においてもその傾向はあるものと推測されます。

30代はエコー（超音波検査）、40代からマンモグラフィーということで健診は進められていますが、マンモグラフィーとエコーの両方を併用することで正確な診断につながることから、是非、40代からの健診にマンモグラフィーとエコー併用の助成を導入すべきと考えます。

併せて、若年性がん患者も増えていることから、若年性がん患者に対する支援内容についても伺います。

また、インフルエンザが流行しておりますが、本市が行っておりますインフルエンザ予防接種費用助成に年齢区分を設けず、全市民の健康推進を目的としたインフルエンザ予防接種費用助成事業の導入について見解を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 がん患者に対するアピアランスサポート事業の現状と今後の展開について。
- 2 マンモグラフィーとエコーの併用に対する費用の一部助成について。
- 3 乳がん検診の受診率の状況と啓発について。
- 4 若年性がん患者等に対する支援内容について。
- 5 全市民へのインフルエンザ予防接種費用の助成について。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 2 質問件名 出産育児一時金の助成についての見解は

【質問要旨】－簡明に－

出産育児一時金が国の施策により原則一人につき50万円に増額されました。

今般の出産費用の状況を見ると、富谷市内でも費用は一人につき約60万円前後とみられ、無痛分娩の選択肢も増えてきています。国の出産費用の全面支援の動きも示されつつありますが、費用を支援することで、安心して出産に臨むことが出来るように本市の見解を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 出産育児一時金の助成について伺います。
- 2 無痛分娩費用の助成について伺います。
- 3 出生率の向上に向けた施策について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 1 : 1 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 1 番 金子 透

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	金子 透
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 高齢者・障がい者外出支援を問う

【質問要旨】－簡明に－

高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぱす」の対象者人数は令和6年度末で、高齢者7,990人、交付者数は3,279人で交付率は41.0%です。同じく障がい者では対象者1,384人、交付者数は424人で交付率は30.6%です。実績件数はさらに少なくなっております。重度障がい者等福祉タクシー利用助成事業については、障がい者の区分で、交付率19.5%、介護認定者の区分で交付率20.9%です。重度心身障がい者等自動車燃料費助成事業では交付率33.6%となっており、5事業全て交付率は半数以下です。また、デマンドタクシーでは利用地区に制限があり全市民が利用できるわけではありません。行政の原則の一つである公平・平等の観点から、上記事業の未利用者を対象とする補完的施策が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 高齢者・障がい者外出支援事業の高齢者及び障がい者、重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業の障がい者及び介護認定者、重度心身障がい者等自動車燃料費助成事業、以上5事業について、交付率をどのように分析、評価しますか。
また、未交付の方々の原因等をどのように分析、評価しますか。
- 2 デマンドタクシーの利用地区を現在のようにした根拠は何ですか。
- 3 デマンドタクシーの利用地区の拡大が必要と考えますが見解は。
- 4 以上の事業を利用しない方々のために、補完的施策が必要と考えますが見解は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 1 : 2 4

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 4 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 令和8年度予算編成方針は

【質問要旨】－簡明に－

令和8年度予算編成方針は、9月29日企画部長より通知されました。

「今後の財政見通しは、基幹的な歳入である市税収入が、転入人口や個人所得の増加などの要因により増加が見込まれる。一方、歳出においては、義務的な経費である人件費、扶助費及び公債費の増加が見込まれるほか、公共施設の老朽化対策の経費が見込まれる。」と記載されています。

予算編成方針等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 7年度予算編成では、総計予算主義の原則が崩れていたと思料するが、8年度は大丈夫か。
- 2 市債発行の抑制及び財政調整基金の取崩し抑制は、どこまで検討されたのか。
- 3 令和8年度からスタートする第2次富谷市総合計画の主な事業は。
- 4 図書館等複合施設の開館準備状況は。
- 5 成田二期北工業用地に関連するインフラ整備事業の進捗は。
- 6 桜田最終処分場閉鎖事業の進捗は。
- 7 市民図書館の蔵書計画が、10月入札では不落となったが大丈夫か。

答弁を求める者 市長

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 子育て支援について

【質問要旨】－簡明に－

令和6年4月から、市町村において母子保健と児童福祉の両機能を一体化し、全ての妊産婦やこども・子育て世帯に対し、相談支援を行う機能を有する「子ども家庭センター」の設置に努めることとされました。

このことを踏まえ、富谷市においては令和7年度に現行の機能を生かし、とみや子育て支援センターと子育て支援課に、分散型の「子ども家庭センター」を設置しました。

以下、「子ども家庭センター」の動向及び子育て支援の現状等について伺います。

【質問項目】－列 記－

1 新たな子育て支援施策について。

- ① 放課後児童クラブ整備事業の進捗状況は。
- ② 4月1日設置の「子ども家庭センター事業」の主な事業内容は。
- ③ 9月より実施した「子どもの学習・生活支援事業」の実施内容は。
- ④ 8月より開始の「養育費確保支援事業」の利用状況は。
- ⑤ 地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援事業の動向は。
- ⑥ 「100ヵ月×100歳 手仕事繋ぐ世代の交流事業」とは。
- ⑦ 「妊婦のための支援給付事業」の利用状況は。

2 「(仮称) 富谷市子どもにやさしいまちづくり条例」とは。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 1 : 4 6

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 4 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市民センター化について

【質問要旨】－簡明に－

令和8年度に、これまで地域の学びの場として親しまれてきた「公民館」が「市民センター」として新しく生まれ変わります。広報とみや11月号にも特集記事が掲載されました。今後は、世代を超えてより多くの人が集い、「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」の新たな交流拠点として「輪づくりの場」となります。

また、複合施設「ユートミヤ」のオープンに合わせて公民館の図書室がリノベーションされ、図書館分館となり、より快適な空間を目指します。

今、コロナ禍を経て地域のコミュニティは薄れてきています。今一度、世代や立場を超えた多様な人々の「輪づくりの場」としての市民センターとなるよう、利用したことがない市民にも輪を広げ、より魅力的な環境整備、広報戦略を実行すべきであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 公民館から市民センターへの移行により、どのようなメリットがありますか。
- 2 これまでの利用団体への説明や意見聴取はどのように行われましたか。
- 3 新たな「輪づくりの場」としての市民センターの活用について、市はどのような働きかけを考えていますか。
- 4 町内会や富谷市協働のまちづくり推進審議会との連携はどのように進めていきますか。
- 5 猛暑対策や熊対策のため、子どもたちの遊び場が失われています。プレイルームの休日開放を求める声がありますが、本市の見解をお伺いします。
- 6 図書館分館において、市民や学生の学習環境の場の確保について。
- 7 施設利用者からはWi-Fi環境整備を求める声がありますが、本市の見解をお伺いします。
- 8 今後の移行スケジュールと市民への説明や情報発信の予定は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 1 : 5 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 8 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市民サービスの向上と職員の働き方改革の両立について

【質問要旨】－簡明に－

行政の窓口業務は、住民税関連事務や年度替わりの転入出など、時期によって大きな繁閑差があります。繁忙期は窓口が混雑し、市民の待ち時間が長くなる上、対応する職員にも大きな負担が生じます。限られた人材をより効率的に活かすことにより、更なる市民サービス向上と職員負担の軽減を両立できればとの思いから、以下の通り質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 窓口業務において、時期によって大きな繁閑差が発生している現状をどのように認識しているのか伺います。
- 2 繁忙期に市民の待ち時間が長時間化することによる課題について、どのように認識しているのか伺います。
- 3 繁閑差により時間外勤務が増加している現状があるのか、またその対策状況を伺います。
- 4 繁閑に応じて窓口数を柔軟に増減できる“可変型窓口”を導入してはと考えますが、市の見解を伺います。
- 5 窓口専門職員として接遇の専門性を持つ人材の採用・配置を進めてはと考えますが、市の見解を伺います。
- 6 柔軟な出退勤を可能とし、育児・介護・病気治療等との両立を促進することで、職員の離職防止・優秀な人材確保につなげることを目的に、フレックスタイム制度を導入してはと考えますが、市の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 3 : 5 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 2 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 地名の由来を活かしたまちづくり

【質問要旨】－簡明に－

今後本市が目指す観光事業の在り方について伺います。

本市の観光事業を見てみますと、富谷宿観光交流ステーション「とみやど」が来場者数80万人を超えるなど一定の成功を収めました。また、「とみやブルーベリースイーツフェア」も継続して実施されています。間もなく完成を迎える複合図書館「ユートミヤ」内のスイーツステーションを活かしたイベントの企画や、先日行われました「発酵食品サミット」の開催を受け、発酵のまちづくりを進めることなども検討されているかと思えます。

このように、日々発展し続けている本市の観光事業ですが、今後の中・長期的なビジョンは、どのようになっているのでしょうか。例えば、遊園地やテーマパーク、複合的なアミューズメント施設や動物園などのレジャー施設の誘致等は検討されていないのでしょうか。

また、観光事業の一つの例として、地名の由来を活かしたまちづくりを政策提案したいと思えます。せっかく地域に残る「富谷」の地名の由来となった伝説を活かしながら、大胆な手法でまちづくりを行い、本市の観光事業をますます発展させていくことができればと考え、以下の通り質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の観光事業について、今後の中・長期的ビジョンは。
- 2 遊園地やテーマパーク等、レジャー施設の誘致について見解は。
- 3 地名の由来を活かしたまちづくりの政策提案について見解は。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 学校での文化芸術鑑賞について

【質問要旨】 一簡明に一

かつては学校において芸術鑑賞会などの実施が推奨されていました。しかしその後、芸術教科の授業時間数は全体として減少傾向にあります。特に「総合的な学習の時間」や「外国語活動」の導入によって、それに時間が割かれた分、芸術分野の時間は削られてきました。また、それに追い打ちをかけて、近年ではコロナ禍により、2019年までに比べ子ども達が文化芸術と関わる機会は大きく減少してしまいました。

このような現状に鑑みたとき、一体何が問題となるのでしょうか。それは、子ども達が直面する体験格差、あるいは文化的貧困と呼ばれる問題です。経済的に豊かな家庭では、子どもに対して教育、旅行、芸術などを通して文化的な体験を与えることができますが、両親が共働きで十分に時間が取れなかったり、経済的に余裕がなかったり、両親が文化芸術に関心がなかったりする家庭では、そのような文化的な体験が乏しくなることを意味します。

家庭の状況に左右されず、子ども達の体験格差をできるだけ小さくするよう、文化芸術体験から一番縁遠い子ども達のためにこそ、文化芸術に触れ合う機会を提供することが、公教育に求められているのではないのでしょうか。

以上のことから、市内の子ども達が文化芸術に触れる機会を積極的に設けるべきと考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】 一列 記一

- 1 本市の小中学校における、演劇・バレエ・オーケストラ等の文化芸術鑑賞機会の提供状況は。
- 2 家庭の状況に左右されず文化芸術に触れ合う機会を提供することが公教育に求められていると思いますが、「体験格差」および「文化的貧困」の問題に対する本市の見解は。
- 3 今後、市内の小中学校において文化芸術鑑賞の機会を提供する考えがあるか見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 4 : 0 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 5 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	☒ 一括 ☐ 一問一答

No. 1 質問件名 富谷市高齢者保健福祉計画の課題について

【質問要旨】－簡明に－

本市は、令和6年度から令和8年度までの3年間にわたる「富谷市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定しております。高齢者の介護を社会全体で支える」という考えのもと、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生涯を過ごせる社会の実現のために、医療、介護、介護予防、住まいや生活支援が包括的に確保される体制として地域包括ケアの整備が求められています。

更に、本市の高齢化率は県内市町村の中で最も低い状況にありますが、令和5年において高齢化率が22.5%となり、超高齢化社会を迎えています。令和7年には団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となるほか、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年頃には市民のおよそ3人に1人が高齢者となり、地域社会を取り巻く課題は今以上に複雑化・複合化していくことが予想されます。

「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり」という観点から、市の現状と今後の取組について以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 高齢化と地域差への対応について。
- 2 介護人材確保の課題について。
- 3 医療・介護の連携強化について。
- 4 介護予防・健康づくりの推進について。
- 5 独居・認知症高齢者への支援について。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	1 1 月 1 1 日 (火)
受付時間	1 4 : 2 1

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 5 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 鳥獣等の被害防止および市民安全対策について

【質問要旨】－簡明に－

市内各所および県内各地域においてクマやイノシシ等の鳥獣の出没が相次ぎ、毎日のように目撃、被害などが報道され、市民生活に重大な不安を与えています。

特に、御所橋付近でクマに襲われる（９月１２日）という衝撃的な実被害が発生し、周辺には小学校をはじめとした公共施設が存在することから、子どもたちの登下校時の安全を心配する声があがり、市民の安全確保は喫緊の課題となっています。

また、市役所屋上で行われている養蜂活動については、環境教育や地域資源の新たな活用の観点から大変意義深い取り組みである一方で、屋上に設置された巣箱から、匂いが風に乗り鳥獣等（クマ・スズメバチ）を誘引する可能性があるのではないかと、の声もあります。

本市においては、１１月７日に対策本部を設置し被害防止に取り組む方針が示されました。市民の安全を確保することは行政の最も重要な責務の一つであり、鳥獣等対策はその基盤を支える重要な取り組みと考えます。

これらの状況を踏まえ、自然と共生しつつ、市民の安心安全を守るため、今後の鳥獣等対策の強化、市民への情報提供のあり方、学校での安全教育の充実などについて、現状と今後の対応方針について、以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内における鳥獣（クマ・イノシシ）出没の現状と対応について。
 - ① ２０２５年において市内で確認、目撃された出没件数と地区、時期について。
 - ② 目撃通報への対応体制について。
 - ③ 出没情報が〇〇地内とわかりにくくピンポイントで知らせてほしい。
- 2 市民、子どもたちへの安全確保に向けた取り組みについて。
 - ① 小学校や中学校の通学路周辺での安全確保対策は。
 - ② 市民への防犯、防災啓発、情報発信の強化が必要と思われるが対策は。
- 3 屋上養蜂活動における鳥獣等対策の関係と市職員や地区の安全対策は。
 - ① 養蜂活動に関する誘引（クマ・スズメバチ）リスクの因果関係の調査は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 米政策における一等米比率向上について

【質問要旨】－簡明に－

今年も、市内において稲作の収穫作業が一段落いたしました。今年の夏は記録的な猛暑が続き、生育障害や品質低下が強く懸念されておりましたが、農家の皆さんの努力により、無事に収穫期を終えることができました。

しかしながら、農家の皆さんの中には、出荷されたお米が「カメムシ被害」などを受け一等米はもとより、二等米、三等米にも該当せず、すべてが規格外と判定されてしまった方もおられたようです。

今年も例年と同様に、畦畔の草刈りやカメムシ防除など、適切な管理を行ってきたにもかかわらず、このような被害が発生したことについては、その原因が分からず、多くの農家の方々が困惑されているようです。

本市の農業経営の持続性と地域ブランド力を維持継続するためにも、品質向上を図る必要があり実効性を高めるためにも具体的な対策が急務と考えます。

以上のことから、本市として現状分析と来年度へ向けての具体的な対応策や関連予算計上等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の一等米比率の直近の現状と黒川地区管内の状況は。
- 2 J A等との連携による技術指導体制強化について市の考えは。
- 3 害虫（カメムシ等）被害による品質低下の状況は。
- 4 品質向上へ向けて来年度に取り組む支援策や予算編成方針は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	1 1 月 1 2 日 (水)
受付時間	1 6 : 5 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 6 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 不登校児童生徒の健康診断の機会の確保について

【質問要旨】－簡明に－

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方で、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、中には重大な疾患や虐待の痕跡などが見逃される子どももいるとみられています。

健康診断は、義務教育の期間における学校生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも、重要な役割を果たしていると考えます。不登校を理由に健康診断の受診を諦める親子をなくすことを目指し、児童生徒の健康を等しく守る観点から、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 不登校児童生徒の人数及び健康診断の受診率・受診状況は。
- 2 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握しているのですか。
- 3 受診できないことによるリスク、健康への影響への見解は。
- 4 学校医の医療機関や、かかりつけ医などでの受診勧奨について。その際の診察料、予約する日時の制限はありますか。
- 5 受け皿を充実させる、複数の予備日を設けるなど、柔軟な受診促進の取り組みはできませんか。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	1 1 月 1 3 日（木）
受付時間	1 0 : 0 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 3 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 親なき後の支援について

【質問要旨】－簡明に－

富谷市第2期障がい者計画・第7期障がい福祉計画（令和6年度～令和8年度）におけるアンケート調査では、「将来、支援者がいなくなった後の生活に不安がある」との回答が多数を占めており、障がいのある方が親亡き後においても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするためには、地域の関係機関が一体となり、支援をする体制を強化していかなければならないと思います。今年度市が委託している障がい者等相談支援窓口が開催した「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談・具体的なライフプラン作成に結びつける仕組みを整備することは、今後重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 「老障介護」と呼ばれるケースが増加している現状についての認識は。
- 2 地域生活支援拠点の5つの機能を確保するための仕組みに関してその実施状況と課題について。
 - ① 相談支援体制の現状と課題。
 - ② 緊急時の受け入れ態勢の確保状況。
 - ③ 体験の機会・場の確保状況。
 - ④ 専門人材の育成状況と課題。
 - ⑤ 地域全体の支援体制づくりの現状と課題。
- 3 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」の今後の展開について。
 - ① 講座を個別相談・具体的なライフプラン作成に結びつける仕組みを整備する考えは。
 - ② 成年後見制度利用促進のため金融機関・専門職との連携体制構築の検討状況は。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 クマ出没への対応強化と鳥獣被害防止対策について

【質問要旨】－簡明に－

今年、市内ではクマの出没が相次ぎ、市民の安全に強い不安が広がっています。こうした状況を受け、本年11月7日、市長を本部長とする「富谷市クマ対策本部」を設置し、全庁体制で迅速・適切な対応を進めております。また、市は鳥獣被害防止計画を策定し、不用果樹伐採事業をはじめ、県や近隣市町村と連携しながら農作物被害の未然防止や被害拡大抑止に向けた取組を進めています。市民の安全を確保することは、最優先すべき責務であると考え、以下質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 クマ対策本部を設置した背景と目的、さらに今後の会議開催方針と、緊急時の意思決定体制は。
- 2 出没情報を受けた際の市の初動対応ルールはどう整備されているか、また、警察、猟友会、県と連携する具体的フローをどのように運用するのか。
- 3 不用果樹伐採事業の予算額と補助金の有無、そして高齢者や障がいのある方など、伐採後の対応が困難な世帯への支援策は。
- 4 鳥獣被害防止計画の中で本市が担う具体的役割は。
- 5 県や近隣市町村との連携の情報共有と緊急対応連携の体制は。
- 6 誘引源管理や生息環境対策について、近隣市町村との協力強化の方針は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	1 1 月 1 3 日 (木)
受付時間	1 0 : 5 4

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 3 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 生き物との共生を目指す田園都市構想を

【質問要旨】－簡明に－

今年は熊の目撃報告の件数が例年に比べ、けた違いに多い傾向にあります。様々な要因が考えられますが、本市においてはどのような要因が考えられ、今後どのように対策していくかが問われます。国会でも取り上げられ、全国的にも関心が高まっており、国としても何かしらの対策が進むものと予想されますが、まずは自治体に取り組める対策を講じる必要があります。

その中の一つに、罾等を仕掛けて頭数を調整するという選択肢があります。高齢化や後継者不足という課題が山積している狩猟者に対する補助や育成強化の必要性が大変高まっています。しかしながら、熊は危害を与える恐れがある場合等以外は、保護対象でもあります。今後も駆除と保護のバランスをとる必要があります。

まちの開発に伴う森林伐採と自然環境の保護は相反するものであり、そのバランスを図る必要性・重要性を、熊が身をもって教えてくれているのではとさえ思えてしまいます。今後の持続可能な発展と、田園都市構想のモデル都市として、全国的にも注目されるような、自然と都市がいきいきと調和するまちづくりを望み、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における熊出没の増加原因をどう分析していますか。
- 2 本年、獣害駆除等で処分した熊の頭数は。
- 3 有害鳥獣一頭当たりの、種類別の駆除報償費用は。
- 4 田園都市構想の中で示す自然との調和・共生は、熊をはじめとする野生動物との共生という観点からどのように捉え、実現しますか。具体策を問います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 遺跡発掘調査の現状と保存の可能性は

【質問要旨】－簡明に－

富谷市の歴史・文化を遺したいという思いから、青森市の三内丸山遺跡、八戸市の是川縄文館、鹿角市の大湯環状列石、多賀城市の東北歴史博物館など、縄文時代をはじめとする、東北の歴史に関する多くの資料館や遺跡を巡り、フィールドワークを重ねてまいりました。その中で、先人が遺し、守ってきたものを語り継ぐことの大切さを実感してきました。

以前にも一般質問で取り上げさせていただきましたが、西成田地区埋蔵文化財本発掘調査も終わり、検証段階にあるかと思いますので、ぜひその検証結果を知りたく、再度取り上げさせていただきました。多くの遺跡や資料館を見てきましたが、全国に完存する十三塚は極めて希少価値が高く、同様に、土塁や堀、柱跡が綺麗な状態で残る中世の遺跡も極めて希少価値が高いと感じました。周辺には縄文時代の痕跡が存在する遺跡があるということであれば、相当な文化財的価値を有する可能性があるのではないかという期待を持っています。

以前も捕捉しましたが、工業団地の造成を即時中止せよ。という極端なことを言うつもりは1ミリもないことをご理解していただいたうえで、一部だけでも保存し、後世に語り継ぐ貴重な資料として遺すという選択肢を検討いただけないかという思いから、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 遺跡発掘調査後の現状は。
- 2 部分的に遺し、文化財や公園として保護・保存する可能性は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	1 1 月 1 3 日（木）
受付時間	1 1 : 1 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 1 月 1 3 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 3 番 伊藤 嘉樹

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	伊藤 嘉樹
質 問 方 式	☐ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 紙が存在しない市役所の実現について

【質問要旨】－簡明に－

少子高齢化による生産年齢人口の大きな減少、市民ニーズの多様化等により市職員の業務は様々な負担が増していますが、その一方で情報化社会と呼ばれる現代日本において市民対応はスピード感を求められているものと思われます。これらの解決策はデジタル化への早期対応であることは明白であり、紙を使わず申請や支払い等が全てオンラインで行えるデジタル化された市役所の実現に向けて質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市役所の業務や市民サービスのデジタル化について今後の方針や計画は。
- 2 様々な業務やサービスのデジタル化は市職員の業務負担を軽減する効果も高いと考えますが、労働環境改善について市の見解は。
- 3 書類保管用キャビネット等により狭隘化している市庁舎執務スペースの確保についてどの様に考えるか。
- 4 公民館、体育館等の施設申し込みや市民課窓口での各種支払い、とみぶら入居企業の賃料やコピー機使用料の支払いはすぐにでも完全デジタル化が出来るサービスかと思いますが今後の対応は。

答弁を求める者 市長